



福岡市社会福祉協議会
マスコットキャラクター
ここっと



社会福祉法人福岡市社会福祉協議会

城南区社協事務所 (城南区社会福祉協議会)

福岡市城南区鳥飼5-2-25 城南区役所別館1階

TEL:092-832-6427 FAX:092-832-6428

Eメール:jounanku@fukuoka-shakyo.or.jp

百聞は一見に如かず!実際に体験して技術を高めよう!

～七隈校区ボランティア研修会(車いす・アイマスク体験)～

七隈校区社協では、令和7年6月16日に民生委員・児童委員、自治会長を対象にしたボランティア研修会を行ないました。今回の内容は、校区社協の「身体的状況により公民館やサロンに来られない方のサポートを学びたい」という想いのもと、車いす・アイマスク体験を企画しました。

あいにく雨天のため公民館内での実施となりましたが、初めて体験された方も多く、実りある研修会となりました。

段差や障害物に注意!～車いす体験～

- ・車いす体験は、2人1組で行ない、1人は車いすに乗り、1人は介助者として参加してもらいました。
- ・体験コースには、マットによる段差、ポールを用いたジグザグ道などを準備し、介助者は、特に段差や坂道を「後ろ向きに進む」ことに注意しながら介助を実践しました。



▲なかなか難しい!

介助のポイントは声掛け!～アイマスク体験～



▲声をかけながらゆっくりと

- ・アイマスク体験も、2人1組で行ないました。
- ・階段を上り下りした後、椅子に座り机上のペットボトルを掴む体験をしました。
- ・介助のポイントは声掛けです。階段は「階段が○段あります」、物を掴むときには「時計の2時の方向にペットボトルがあります」といった具体的な声掛けが必要となります。
- ・さらに、歩行時は介助する側が「半歩前を歩く」ことも重要なポイントとなります。

今後に活かそう!～みんなで振り返り～



▲振り返りの様子

- ・体験後は、参加者全員で体験の振り返りを行ない、体験を通して感じた点や気づきを共有しました。
- ・参加者からは「介助する側だけでなく、介助される側の体験もすることで、どのような声掛けをしてもらえると安心できるか身をもって体験できた」「実際の介助を想定し、外での体験もしてみたい」といった感想もあり、有意義な研修となりました。

世代を問わずみんなで楽しむ交流の場

～「ながお福祉まつり」が開催されました～

令和7年8月3日、長尾公民館にて長尾校区社協主催の「ながお福祉まつり」が開催されました。今回で3回目の開催となった本イベントは、季節を考慮して館内メインで行なわれました。

館内では、町内会や子ども食堂等の提供する食事コーナー、ランタン作りや玉ねぎ染めの手作り体験、認知症チェックコーナー、夏野菜販売、子どもの遊び場、介護等の相談ブースが設けられました。また、館外ではヨーヨー釣り、かき氷販売など、夏を感じるブースが出店されました。

当日は多くの関係団体の協力により213名の住民が参加し、とても賑やかなイベントとなりました。



▲みんなでランチタイム

城南区校区社協リーダー研修会を実施しました

令和7年8月5日に校区社協リーダー研修会を実施しました。

今年度はふれあいネットワーク(見守り活動)をテーマとし、田島校区と七隈校区の校区社協会長から実践報告をしていただきました。

田島校区からは、見守りマップに関する取組みやサロン活動を含めた見守りの状況について、七隈校区からは、校区のふれあいネットワーク会議のあり方や活動の工夫点についてお話しいただき、どちらも今後の校区社協活動に大変役立つ内容でした。

後半の情報交換では、集合住宅における見守りの難しさなど、日頃の活動の悩みや課題が共有された一方で、つながりの大切さを再認識する声も多く聞かれました。



▲情報交換の様子

であおう、かたろう、共有しよう

～家族介護者カフェ城南を開催しました～

令和7年7月20日、城南区役所別館にて今年度第1回目の「家族介護者カフェ城南」を開催しました。このカフェでは、ご家族を介護する方向士が日頃の悩みや介護での体験を共有し、意見交換ができる場として年2回開催しています。

今回も参加者同士で悩みの共有や助言等活発な意見交換が行なわれました。また、いきいきセンター職員より、センターの紹介や事例提供等の専門的なお話もいただきました。

令和7年度は12月に第2回目の開催を予定しておりますので、ご家族の介護に携わる中で誰かとお話ししてみたい方は、ぜひ城南区社協までお問い合わせください。



▲日頃の悩みを相談

